

2020 年度
専門学校サンテクノカレッジ
学校関係者評価 報告書

評価対象期間：2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

2021 年 10 月
学校関係者評価委員会

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	1
	1. 学校関係者評価の目的	
	2. 学校関係者評価委員名簿	
	3. 学校関係者評価委員会の実施状況	
II	学校関係者評価委員会 評価結果報告	2
	1. 教育理念・目的・育成人材像	2
	2. 学校運営	2
	3. 教育活動	3
	4. 学修成果	3
	5. 学生支援	4
	6. 教育環境	5
	7. 学生の受入れ募集	5
	8. 財 務	6
	9. 法令等の遵守	6
	10. 社会貢献・地域貢献	6

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

専門学校サンテクノカレッジの学校関係者評価の目的は、以下の通りである。

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②本校の専門分野の関係団体、専門分野の関係業界、地元自治体、卒業生など、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属等
関係団体	廣瀬 不二夫	一般社団法人 山梨県情報通信業協会 事務局長
関係業界	石原 佳典	株式会社ジインズ システムソリューション部 部長
	※勝 俣 義 也	株式会社エスピーシー 顧問
地元自治体	丸山 英資	甲斐市 総合戦略部 経営戦略課長
卒業生	井上 満邦	サンテクノカレッジ同窓会 会長

※委員長

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 第1回委員会

- ・書面による自己評価報告書の内容確認。

(2) 第2回委員会

- ・書面による学校関係者評価報告書の内容確認および承認。

II 学校関係者評価委員会 評価結果報告

1. 教育理念・目的・育成人材像（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 学校の理念や特色を明確に定め、外部（高校生など）にも公開している。
- 社会や地域産業界の動向を注視して、ニーズを反映した運営（見直し）を実施している。
- 常に社会のニーズを各種の方法で調査を行い、授業に取り入れていく体制は大変評価できる。
- 社会の必要性に応じた教科の更新が見受けられる。
- 本取り組み項目において、国のデジタル化への流れとあわせ、新技術に対応できるエンジニアの育成を図り、社会ニーズ等を踏まえた学校の将来像を随時見直し、時代に即した教育に取り組まれている。
- 理念、目的、育成人材像から、学校の将来構想まで一貫して構成されている。
- 産業界が求める人材への調査を実施した上で、理念や目的と照らし合わせて、具体的な人材育成のイメージを描き、実際のカリキュラム等に落とし込まれている。

【改善すべき点】

- 新型コロナウイルスの影響で、企業からの教育指導の授業が受けられなかったとの報告であるが、情報系の学校でもあるので、今後はリモートなどにより授業を行ってほしい。
- 新型コロナウイルス禍のためにハル研究所のゲームクリエイターによる授業が行われなかったのは非常に残念である。来年度はなんらかの形で開催されることを願います。

2. 学校運営（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 設備の管理を中期的に行い、計画的な資金需要を把握できるようにしている。但し、エレベータやエアコンの故障が発生した場合に事後対応をしているので、計画との相違を確認することにより計画の精度を上げることができる。
- 専門業者と成績管理システムの共同開発を検討していることは、学生がシステム開発の経験や知識を習得することができ、コスト低減にもつながる。
- 事業計画の教職員全員への配布、また、検討会議、委員会などで検討される事項についても教職員会議において報告するなど、情報を共有することで、各教職員にも目標とするものが見えてくると思われるので評価できる。
- 業務の効率化として、マニュアルを作成し業務運営がされ、日々の業務改善による適切な運営は評価できる。
- 学校運営において、委員会制により必要な運営組織が作られ、円滑に機能している。
- 委員会制の組織運営および意思決定機関は、学則で明確化された上で運営されている。

【改善すべき点】

- 学生に対して、良質な教育を提供するには教職員のワークライフバランスが適切に保たれていることは重要な一要素であるため、有給休暇の取得率の改善は必要と思われる。
- 本項目は達成度の検証が難しい項目なのかもしれないが、全体的に評価が低く抑えられているような感じを受けます。

3. 教育活動（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- コロナ禍にあって必要な授業を実施したことは関係者各位の並々ならぬ努力の結果であり、敬意を表します。
- 基本知識と実践的な業務知識をカリキュラムに取り入れており、即戦力の学生の輩出に向かっている。
- 教育活動については、全体的に安定していると評価しました。特に2020年度においては、休校期間などもあり、教育活動に関しても大変な年であったと思います。
- 本項目の充実は見張るものがある。コロナ禍のもと、工夫をされている点は評価できる。
- 目まぐるしく、急速に進歩するICT技術の変化に対し、方針が策定されている。また、業界団体等との連携により、カリキュラムの見直しは新技術の情報収集などに役立っている。
- 新型コロナウイルス禍の不測の事態にもかかわらず、教職員が一体となって、授業時間数を確保した。
- 企業とのかかわりを保ち、企業ニーズにあった知識や技術を修得できるようにカリキュラムを工夫している。

【改善すべき点】

- コロナウイルス感染症の影響による休校は止むを得ないが、本校の強みを生かしたりモータ授業や今後に向けバーチャルを活用したオンライン授業などに取り組んでみてはいかがでしょうか。
- 教職員の能力開発のための支援体制の拡充が課題と見受けられる。
- 業務知識の習得は外部講師に負う点があると思うが、体系的に取り入れることを検討したらどうでしょうか。

4. 学修成果（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- Y S Aが主催する、業界紹介セミナーやインターンシップ等にたくさんの学生が参加している。

- 毎年 90%後半の就職内定率を保持しており、入学生へのいいアピールポイントとなっている。
- 就職内定率が前年を上回っていることは大変評価できます。
- 取り組みは非常に評価できます。就職後のフォローも満足しています。
- 就職率の向上については、サポート体制をはじめ、このコロナ禍においてガイダンスやセミナーの開催により就職率を向上させていることは、適切な業務に取り組んだ成果であり評価できる。
- 就職率向上のための体制が生まれ、活動が効果的に実施されており、就職内定率の高さに現れている。
- 新型コロナウイルス禍で例年とは異なる難しい状況の中で、退学率低減の努力がなされている。前年比で結果的には増加したが、低減活動の努力がなければ、さらに高い退学者数になっていたと思われる。

【改善すべき点】

- 退学者の増加は残念である。今後、学生間の情報収集およびコミュニケーションを図り入学者全員の卒業を目指していただきたい。
- 学生数が前年を上回っているのに対して、心的ストレスの影響により退学率が増加しているのが気になりました。
- 個々に様々な手法で対応されていることは、大変評価できますが、今後は、心理的な教育も検討していく必要があると思います。

5. 学生支援（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- Web 模擬試験など現実的な対応をしている点は評価できる。アフターコロナでもオンライン面接は一定程度有効と判断されているので、対応を継続すべきである。
- 各種支援制度（経済面）が充実している。
- 大手の専門学校と違って、一人一人の学生に対して、きめ細やかな対応ができていることは、大変評価できます。
- 卒業生に対するフォローも充実していると感じます。
- コロナ禍において、様々な学生支援については評価できる。引き続き、高校、企業等との連携を図り、今以上の教育環境の整備を目指してほしい。
- 進路・就職に関連する支援体制は、きめ細かく実施されており手厚い。
- 新型コロナウイルス禍での会社説明会や面接試験のオンライン化にも、Web 模擬面接を実施するなど、迅速に対応して内定率を確保した。
- 学業以外の課外活動に対しても支援体制が組み立てられており、学生のキャンパスライフの質の向上を図っている。

【改善すべき点】

- 教職員による学生支援体制は充実しているが、専任カウンセラーの配置や学生相談室の設置が行えていない。
- 就職後の企業や卒業生の理解を得て、定期的に OB 懇談会等を実施したらどうか。
- 本校が試験会場になっている点に着目した PR を行い、本校の認知度をさらに上げたらどうか。

6. 教育環境（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- ネットワーク環境も含めて必要な機材が十分設置されている。
- 設備環境などに関しても修繕等を実施されているようですが、学校内の清掃が行き届いていることが特に評価できると思います。
- 問題点に対する対応を真摯に行い、環境整備の充実が見受けられます。
- 施設全体の維持管理が適切に実施されており、教室数などの物理的な教育環境は充実している。
- 災害対策などの安全面に対する対応も適切に実施されている。

【改善すべき点】

- 海外研修の取り組みについては、費用面なども実績が出ない要因と考える。ついでに、時代に即し国外企業や学校などと連携を図り、リモートによる研修会や授業などに取り組んでみてはいかがでしょうか。
- 社会人経験者を受け入れるための制度はしっかりと整備されているにもかかわらず、広く世間一般への周知が十分とは言えない。

7. 学生の受入れ募集（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- スマートフォンのサイトの充実や YouTube 動画の作成など、利用する学生向けに積極的な募集活動を実践している。
- 2020 年度はコロナ禍で中止せざるを得ない活動も多々あったと思われませんが、学生数が増加したことは、募集に関して積極的、また効果的な対策が取られていると評価します。
- この項目についても、年々充実しているように見受けられます。
- Web サイトや SNS による情報発信は適切である。
- 学生募集活動は、各種メディアを全て利用し、積極的に行われている。
- デザイン展を開催して学生募集にもつなげたり、各種外部コンテストへの参加なども効果的である。

【改善すべき点】

- コロナ禍対策などとして、進学ガイダンスの動画を学生と共同で作成し、YouTube などの活用も検討できる。

8. 財務（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 長年黒字経営を継続されており、また借り入れも無い状態で素晴らしいと思います。
- 長期的には、校舎の建て替え（築30年）等も考慮した資金計画もされている。
- 事業計画作成などにより、設備投資等を実施する中でしっかりとした収支管理がされていること、また情報公開など実施されていることは評価します。
- 監事や評議員会といった組織が有効に働いていると感じますので、本項目については賛同します。
- 単年度収支の推移により、適切に会計処理がなされ、また、資金運用についても改善が図られている。
- 借入金ゼロで毎年の学校運営ができています。
- 施設・設備の修繕や更新などが計画的に実施され、費用計画も手堅く行われている。

【改善すべき点】

- 特になし

9. 法令等の遵守（評価結果 / 適切：5名・不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 予算、事業計画、諸規定の変更などを理事会、評議員会を通じて適正に行っている。
- 自己評価や関係者評価を公開して実践している。
- 規程の作成だけでなく、全教職員に周知徹底されていることは大変評価できます。
- 法令の遵守については、学校側の取り組みに安堵しています。
- 優良法人として、各種法令等を遵守している。

【改善すべき点】

- 不適切な情報発信ツールの利用により、学校のイメージが著しく悪化するリスクに対する考察と対応が必要ではないでしょうか。

10. 社会貢献・地域貢献（評価結果 / 適切：5名・不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 地域社会、学校、公官庁などへの社会貢献を積極的に行っている。
- コロナ禍で多くの行事が中止になっていることから、例年と対比することは無理だと思います。その中で、対応可能なことに関して実施されたことは大変評価できます。
- 本項目についても、非常に充実していて、今後の展開を大いに期待しています。
- 次世代を担う子供たちを対象とした出前講座、警察への協力などは評価が高い。
- 新型コロナウイルス禍にもかかわらず、状況を慎重に判断した上で、社会貢献・地域貢献活動を継続している。

【改善すべき点】

- 高校での出前講座などの検討。